

## 平成30年度 第3回岡崎城跡整備委員会会議録

開催日時：平成30年11月5日（月）午後2時00分～午後4時30分

開催場所：岡崎市役所 西庁舎7階 西702

出席委員：6名

瀬口哲夫委員（委員長）・加藤安信委員（副委員長）・奥田敏春委員・  
三浦正幸委員・丸山宏委員・堀江登志実委員

欠席委員：1名

中井均委員

説明のために出席した事務局職員：10名

社会教育課：小野鋼二課長・柴田英代副課長・菅沼貴之岡崎城跡係係長・  
山口遥介主査・中根綾香主事

まちづくりデザイン課：山本礼美主査・塚本拓也技師

公園緑地課：横山晴男課長・坂田有紀主任主査・河合寿八主任主査

傍聴者：なし

### 次第

#### 1 議題

- (1) 石垣保存修理工事について
- (2) 歴史文化資産解説版整備について
- (3) 岡崎城下東海道二十七曲り道路修景整備について
- (4) 植栽管理計画について

### 議事内容

#### 1 議事

- (1) 石垣保存修理工事について

事務局：配布資料①に基づき説明

#### 【質疑応答】

委員：前は天端石をまさ土で固定するということであったが、今回は土嚢で固定するということになったが、ご意見は。

委員：なぜ麻土嚢か。

事務局：他市の事例を参考にしている。現状どうなっているかは確認するが、耐久性、見た目を勘案して麻土嚢している。

委員：一時的はどの程度を考えているのか。

事務局：最終的な整備ではないと考えていただければよい。

委員：耐性土嚢は黒の土嚢があるが、黒ですよ。

事務局：はい。

委員：名古屋城では、初めに安い土嚢で行ったがすぐに使い物にならなくなり、国土交通省が利用している黒い耐性土嚢を利用した、丈夫であるがものすごく目立つ。また、断面を見ると、1m分水が石垣側に流れるようになるがそれは問題ないか。

事務局：多少は仕方ないと考えている。

委員：土を流さないということであれば土盛りの上に麻のメッシュのネットをはる方法もある。今東之宮古墳やっている。土を流さないということが目的であれば植生で抑えるということであれば芝でなくてもいいと思う。いろんな工法があるので一度やってみてダメなら違う方法を試すしたらよい。

委員：盛り土の件について、石垣上部の天端が陥没しているということは原因が二つ考えられる。円弧滑りを起こし土が滑り落ちている場合、もう一つは裏込めの中に上の土が落ち込んでしまっている場合である。滑り面が出来て陥没している場合、盛り土をすると荷重が多くなるから危険を伴う可能性はある。安易に盛り土をするという考えは危険である。下の状況が不明であるためどうすればよいかわかりませんが。立面図を見ると下のほうの石は大きく田中吉政時代と推測されるが、上のほうが斜めに小さい石が入っているがそれは19世紀中期であると推測される。一度崩れたあとに技術の悪い積み方をしていると考えられる。すると小さい石材であると奥行きが短いので、なるべく荷重をかけないほうが良い。図面から見ると石垣の裏に500kgの荷重がかかる。施工をしておいて、もし、施工後に亀裂が入るなどの変状が認められた場合は、崩壊の危険があるので、直ちに対策をとるように。施工後によく観察するように。

委員：築石はそのまま補充するのか。

事務局：現状の石は嚙んでおり、前面がないというところです。

委員：業者に見てもらえばわかると思うが、それは可能なのか。

事務局：可能である。

委員：欠けた石が残っているのか、ならくっつける必要がある。

事務局：欠けた石が残っているわけではないので新石を補充する。

委員：それなら後ろの石にドリルで穴をあけ、つなぎを入れとかないといけない。

委員：天端に松があり、根っこが石垣を毀損している。どうするか。

事務局：前日も申し上げたが石垣を毀損している樹木については植栽管理計画によらず、優先順位をつけ、公園管理者とも協議をし、順次伐採を進めていく。

(2) 歴史文化資産解説版整備について

事務局：配布資料②-1に基づき説明

【質疑応答】

委員：文字の大きさは決まっているのか。

事務局：決まっています。タイトルが72ポイント、タイトルの英訳が36ポイント、タイトルの振り仮名が18ポイント、日本語の解説が28ポイント、振り仮名が18ポイント、英語の解説が21ポイントである。

委員：色は白か。

事務局：白で表示をする。

委員：イラストは。

事務局：基本は白にするが、二色刷りにしますのでグレーなどになる。

委員：デザインの所で、形状ですが、家康公の馬印であった金扇をモチーフにとあるが、どういったものか。

事務局：扇を閉じて、逆さまに立てた形が側面になる。

委員：気になるのは土台だが、コンクリートで下はGLとなっているが、掘ることはないのか。

事務局：GLの上に改良土を敷、その上に基礎コンクリートを置く。

委員：改良土は碎石か。

事務局：土をセメントで混ぜたもの。史跡なので掘り起こさず置くスタイルになる。今回国の補助金を利用するため、移動させることが出来ないのので、土をかぶせて固定するものである。

委員：総構えの案内だが、今日の資料だとどこが総構えかがわかりにくい、東海道が目立つが、ルートについても昔そうであった道筋なのか。

事務局：一部違うところもありますがそうなる。

委員：市で出しているものでルートの問題もあるが、総構えが明確になるものが良いのではないか。外の枠を何らかの形で強調することが出来ればよいと思う。

委員：武家地、町人地等はこれではわかりにくいですが、実際にはわかりやすくなるのか。

事務局：はい。わかりやすくなります。

委員：もう少し文字で書いたほうが良いと思う。27曲がり町人地というのはわかるが、武家地が良く見えない。

事務局：今回は印刷が見にくくて申し訳ないが、次回はもう少し見やすい資料にする。

委員：文字がもう少し大きくても良いと思う。空間がわかるように内容も、もう少し付け加えたほうがよいと思う。

- 委員：案内板は七間門のあたりに置くのか。
- 事務局：はい、今大きな観光案内板の代わりに設置する予定である。
- 委員：すると、電車に乗ってきた人が、城内に来て初めて全体が分かることになる。駅の周辺にもこれを置くなどの工夫も必要と考える。
- 事務局：他の事業で、映像やVRなので総構え全体を見せていこうという計画もあるので、それとセットで理解していただければと考えている。
- 委員：岡崎城はどこからでも入れるので、そういった人たちにも配慮する必要がある。
- 委員：堀の位置、幅、形がずれているので正確なものに修正するように。
- 委員：解説板が斜めになるものがあるが、見た感じ不安定な立ち方だが問題はないのか。
- 事務局：縦型の解説板とデザインを統一するためである。
- 委員：町名ですが、江戸期の町名と明治以降の町名が混在しているが、なぜか。
- 事務局：通り名は新しい通り名となっている。黄色い枠は現在の町界線である。
- 委員：過去と因果関係があるなら良いがそうでなければ意味がないと思う。
- 事務局：今の町名であっても昔の歴史的な意味合いから今に残っている地名があると思って示すといいかと思う。
- 委員：武家地だったところが康生町になっている。昔は武家地は名前がない。
- 委員：区画整理をしているので道路のパターンと町名が一致しない。検討して、歴史的空間を教えた方がいいのか、現在をとおして教えた方がいいのか。混在するかもしれないが、混在してこんがらがらないようにするように。

事務局：配布資料②-2に基づき説明

**【質疑応答】**

- 委員：一番初めに説明するのは家康の城ということだと思う。それが一番初めに来るのがいいのではないか。
- 委員：岡崎城の本質的な価値は遺構が重なっていることであり、家康はその一部である複合的な価値を強調するのがセールスポイントである。
- 委員：価値観である、一般の人がキャッチコピー的にわかりやすくする必要はある。説明のポイント、強調する仕方を考える必要がある。今までのものでは面白くない。
- 委員：歴史を書くとき編年体で頭から順番に書く。そうすると良くわからない。編年体で書くのではなく、一番最初に一番大事な部分を書き、その後、説明を書いていくようにした方が良い。
- 委員：総合案内板なので観光客が来て、ようこそ岡崎城へということになると、家康誕生の城ということが良いと思う。

- 委員：家康ということで来るお客さんは多いと思う。なので家康を初めに教えるということのが良いかと思う。縄張りの解説で歴史的な変遷を触れていけば良いのではないかな。
- 委員：書き方も箇条書きにした方が、一般の人には読みやすいと思う。出来るだけコンパクトにまとめた方が良いと思う。QRコードなどで補足すれば良い。サイン計画の文字数などのすり合わせは出来ているのか。
- 事務局：200文字と言われているのでその様にしている。
- 委員：行数として多くないか。パンフレットなら良いが。
- 事務局：人が解説文を読むのに200文字程度が限界であるとのことなので、最大200文字としている。QRコードについては今年度業務で検討している。31年度以降設置するものにはすべてQRコードを設置する。
- 委員：博物館でも立った人間が読むのは200文字である。200文字程度ないとものならない感じもする。
- 委員：博物館などは冊子があるのでそれにかなり書いてあると思う。岡崎城ではどうか。
- 事務局：冊子自体は売っているが解説というものではない。発掘調査をして成果があるが、200文字では表現できないのでQR等を利用していかないといけない。
- 委員：最初の1行2行が勝負になるので、そこをしっかりと書くように。また、意見を伺いたいのが、年号の書き方ですが、西暦の後に和暦が記載されているが、正しい書き方ではない。西暦と和暦は1月ずれている。和暦12月の出来事は西暦だと1年後になってしまう。日本史の論文では和暦を先にし、サービスとして西暦を書く。どうするか決めた方が良い。
- 委員：ほかの所はどうか。
- 事務局：文化財の指定看板を書く時は和暦が先になる。
- 委員：他の事例を調べてみた方が良い。
- 委員：教科書では概ね西暦（和暦）年である。
- 委員：12月の問題で、小中学校で試験でも以前は西暦年を答えさせる問題があったが、12月でずれてしまうので最近ではそのような問題もなくなっている。
- 委員：結論としては和暦（西暦）年ということですか。

### (3) 岡崎城下東海道二十七曲り道路修景整備について

事務局：配布資料③に基づき説明

#### 【質疑応答】

委員：道路標示の止まれの手前のひし形は新たに設置しないということでしょうか。

事務局：はい。

委員：他の都市は交差点だけ舗装の色を変えることがあるが、そういった配慮はしないということが良いのか。

事務局：今回は交差点が入っていない。

委員：道が27曲がりのところで変われば、わかりやすいと思うが。

事務局：今、詳細設計の業務で路面の位置表示のパターンも検討している。

委員：色を付けた方がわかりやすい気がする。本来は土であったと思う。岡崎の27曲がりが強調できてない気がする。

事務局：曲がりの部分に関しては路面に案内を参考に色がつけられるところはつけていくように検討する。

委員：あまり目立たそうとせず、色を付けるのであればこの色で良いと思う。

委員：道路工事をしたら出てくる土の色があると思うが、それはこの色ではないと思う。

事務局：発掘調査において道路面の遺構として検出できているところは数か所ある。地山がそのまま道路になっているわけではなく、造成をして道路を作っている。地山の色はオレンジ色だが、道路面の色としては灰色に近いものとなっている。

委員：そんなに着色はなくてもいいとは思いますが、この色ではアスファルト舗装に砂が入るような感じになるので他との差別化が図れない。

委員：私が子供のころは舗装がなかったが、茶色ではなくどちらかというと白っぽかった。

委員：今回整備する道路は幅員が当時と同じ幅ですが、全域を単一で整備しても良いと思う。道路だと街道部分と拡幅した箇所を色、材質等を変えて差別化する必要がある。

委員：伝馬町をすると歩道の上になる。車道も行うのか。

事務局：今考えているのは歩道のみ。

委員：どういうようにするのか、この道路だけでは判断が出来ないが、この部分に関しては27曲がりの道路舗装ということで良いと思う。

委員：ここで決めたら他でもこの舗装になってしまう。

委員：全体でこの道路舗装の色で良いのかどうか決めないといけない。

委員：私としてはどちらかと言うと、建築物を和風にして欲しいと考えている。難しいとは思いますがそれくらいはやってもらおうと城下町の雰囲気はでると思う。

事務局：私の地元では、濡れれば茶色になるが、色としては灰色であった。今回の材質であれば、アスファルトと差別化は図れる。

- 事務局：アスファルトと比較して透明な樹脂の見つかった骨材であるので、色合  
的にも違いは分かる。
- 事務局：年月が経つほど白っぽくなるので周りとの差別化は図れる。27 曲がり  
は全域この舗装で行っていく。
- 委 員：昔の絵図では道路は黄色で表記がされている。それを考えればそれなり  
に着色をしてもいいかと思う。
- 委 員：他との対比が出来るように考えてもらえば良い。
- 委 員：他との差別化を図るのに石灰岩だけはやめた方が良い。事故のもとにな  
る。

### (3) 植栽管理計画について

事務局：配布資料④に基づき説明

#### 【質疑応答】

- 委 員：調査をされたというのがどういった調査なのか。
- 事務局：27 年に寸法、位置を図面に反映したものがあるので、そこを基に目視調  
査をしている。
- 委 員：樹種の更新という表現があるが、更新する前に伐採をしなければいけな  
いのではないか。
- 事務局：伐採という意味で更新としている。
- 委 員：天守の見通しについて、見えないからきるというやり方ではなく、見え  
方を演出することも必要である。また、石垣を毀損する樹木を今年 9 本  
伐採したということだが、この計画だとどの位かかるのか。
- 事務局：来年以降順次伐採をしていくが、現状何年以内に行うなどの具体的な計  
画はない。
- 委 員：重要なことである石垣を毀損する樹木については 5 年以内に切るとか計  
画立てないといけないと思う。年間 30 本程度伐採すれば 5 年で行うこと  
は可能である。担当は公園緑地課ではないのか。
- 事務局：文化財を毀損する恐れがあるということなので、文化財部局で進めてい  
きたいと考え、公園管理者と協議をしている。
- 事務局：双方で協力、役割分担をしながら行っていきたい。
- 委 員：昨今の異常気象で、今年も大きな台風が来たが、本当に危険であるので  
早急に進めていく必要はあると考える。
- 委 員：早急に計画をたて進めていくように。